

旧アルファビゼン盗難事件調査特別委員会報告書

平成29年2月3日

備前市議会議長 鵜川 晃 匠 殿

委員長 橋本 逸夫

平成29年2月3日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	結 果	備 考
旧アルファビゼン盗難事件に関する調査について 1 調査資料等の整理について 2 次回の委員会について 3 参考人・証人の出席要求について 4 説明員の出席要求について	継続審査	—

旧アルファビゼン盗難事件調査特別委員会記録

招 集 日 時	平成29年2月3日（金）	午前9時30分		
開議・閉議	午前9時30分	開会　～	午前11時49分	閉会
場 所 ・ 形 態	委員会室A B	閉会中の開催		
出 席 委 員	委員長	橋本逸夫	副委員長	川崎輝通
	委員	山本恒道		田原隆雄
		尾川直行		津島　誠
		掛谷　繁		守井秀龍
		立川　茂		西上徳一
		山本　成		石原和人
		森本洋子		星野和也
欠 席 委 員	田口健作			
遅 参 委 員	なし			
早 退 委 員	なし			
列 席 者 等	議長	鵜川晃匠		
参 考 人	なし			
証　　人	なし			
説 明 員	なし			
事 務 局	議会事務局長	草加成章	事務局次長	入江章行
	議事係長	石村享平	議事係主査	青木弘行
傍 聴 者	報道関係	あり		
	一般傍聴	なし		
審 査 記 録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○橋本委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は14名でございます。定足数に達しておりますので、これより旧アルファビゼン盗難事件調査特別委員会を開会いたします。

それでは初めに、傍聴の取り扱いについてですが、本日の会議につきましては一般、報道関係者の傍聴をそれぞれ許可することとし、一般傍聴者が定員を超えた場合は委員会室Cにて音声のみの傍聴をしていただくことにいたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決定します。

また、報道関係者から申し出をお受けしております写真撮影、録音及び録画は許可しております。

本日の委員会は、これまでに調査をしてきた内容、資料等を一度整理していただき、今後の調査の進め方を御協議いただきたいと思いますと考えております。

この際、暫時休憩をいたします。

午前 9時31分 休憩

午前11時40分 再開

○橋本委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

幹事以外の委員の皆さん、長時間お待たせをいたしました。

先ほど休憩中に開かれました幹事会で決定した事項を発表いたします。

次回の委員会の開催日時に関しましては、先ほど休憩中にいろいろと議論をいたしました委員会記録の要点筆記、これをいろいろな項目ごとに分類して事務局が整理をする、その整理に要するのに約3週間程度は見えていただきたいということの中で、かといって余り延ばしようたら3月定例会がもう始まってしまうということで、2月24日ということで幹事会では決定をいたしました。皆さん、御都合のほうはいかがでございましょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいということでしたら、次回の旧アルファビゼン盗難事件調査特別委員会は2月24日に開催をいたしたいと思えます。

続きまして、参考人招致、証人喚問につきまして新たに2月24日ということで幹事の間で議論をしていただきました。

まず、前回の委員会に呼び出し状が手元に確認ができなかったという理由で参考人としてお呼びしましたが欠席をされた石野さん、これにつきましてはもう一度参考人として出頭していただくということでございます。

それから、以前から証人としてお呼びしておりますが、健康上の理由から出頭していただいております幡上さんに関しても、証人としてお呼びをしようということでございます。

それから、幹事の委員の中から要求がありました、事件が発覚した当時の備前署の刑事課長さ

んをお呼びしてほしいという意見がございましたが、まず出頭していただけるかどうかがよくわからないし、仮に出頭していただいても捜査状況の内容に触れることについては証言を拒否されるのではないかとということで、これについてはもうお呼びするのは控えようという幹事会の決定であります。

これにつきまして、それを要求された委員の方には不服でございましょうが、一応幹事会のほうではそういうふうに決まりましたので、御了解をいただけたらと思います。いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

まず、証言はいただけないということのようなので。

それから、もう一点がこれもやはり委員のほうからこの方をということで、当時のアルファビゼンに関連をしておりました職員でございますが、これに関しまして当時ウエストジャパン興業の吉村武司氏から5, 550万円の寄附金を返還するように強く要求をされたと周りには言っておられるそうでございますが、その当時の職員をお呼びしてそこら辺のいきさつについてお聞きしたいという要望が出ましたが、この寄附金の返還請求につきましては狭義に解釈、旧アルファビゼン盗難事件の調査特別委員会としてはそぐわない案件じゃないかということで、一応幹事会ではそれらについては委員会に参考人としてお呼びするということは控えたいと、そういうことをぜひともやりたいのであればいろいろな他の機会を捉えてやっていただきたいという意向でございました。これに関しましても……。

津島委員。

○津島委員 寄附金返還疑惑もかかわってますけど、いろいろとそれ以降、電線盗難が発覚した前後にかかわっとんですよ。じゃから、寄附金返還のときの職員でもあり、それ以外にもたくさん聞きたいことがあるので、ぜひ呼んでいただきたいと思います。

○橋本委員長 とりあえず先ほどの休憩中の幹事会では一応差し控えようということでございますが、先ほど津島委員の言によると寄附金返還の要求だけじゃなくって、いろいろなことを聞いてみたいんだということであるならば、それはそこら辺の内容を精査して、この次の委員会でこういうのを呼んでほしいという要求を出していただけたらと思うんですが……。

〔「24日はいけんのん」と津島委員発言する〕

24日はまたこれで一旦休憩して、また幹事会を開いて、またその質問内容と……。

〔「委員長、全員言おるんだから、ええんならええんじゃない」と田原委員発言する〕

じゃ、どういうふうな正式な質問内容か、箇条書きをこさえにや。

〔「それを皆さんに訴えて、ええなあというてここで決めたら、殊さら幹事会を開かなくても」と田原委員発言する〕

そりゃ、本委員会の決定が最優先なんですけれども、まだ……。

〔「いや、どんなことを聞きたいんかという」と田原委員発言する〕

〔「中身を言うてくれりゃええが」と川崎副委員長発言する〕

じゃ、聞きましょうか、中身。具体的にどういうことを聞きたいのか。ちょっと記録して。津島委員、どうぞ。

○津島委員 言わん、言わん。

〔「次でええが、もう」と呼ぶ者あり〕

○橋本委員長 だから、それは次回の委員会までに精査してきてください、具体的な質問内容を。でないと、お呼びができませんので。そういうことで一応処理をさせていただきたいと思います。

今、事務局のほうから参考人としてお呼びする石野さん、それから証人としてお呼びする幡上義一氏に関しては、前回お呼びしたときの出頭要求書の記載内容、つまり意見を聴こうとする案件については前回同様でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

はいじゃ、そのように取り扱いをさせていただきます。

時間は9時半から石野氏、それから10時半から幡上氏、それからもう一つ先ほどの被害額の算定をめぐって担当者を説明員としてお呼びする、それは時間は特定をしておりますが、次回の委員会ではどのようになっておるんかということの説明をさせていただきたいと思いますので、その点了解をしてください。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それから、塚元証人への対応につきましてはもう少し状況を、推移を見守ろうということで、とりあえず保留という格好で協議をいたしております。よろしいでしょうか、これにつきましても。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上ですが、この委員会を閉じるに当たって何か委員の皆さんのほうから特別に御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上をもちまして旧アルファビゼン盗難事件調査特別委員会を閉会いたしたいと思います。

御苦労さまでございました。

午前11時49分 閉会